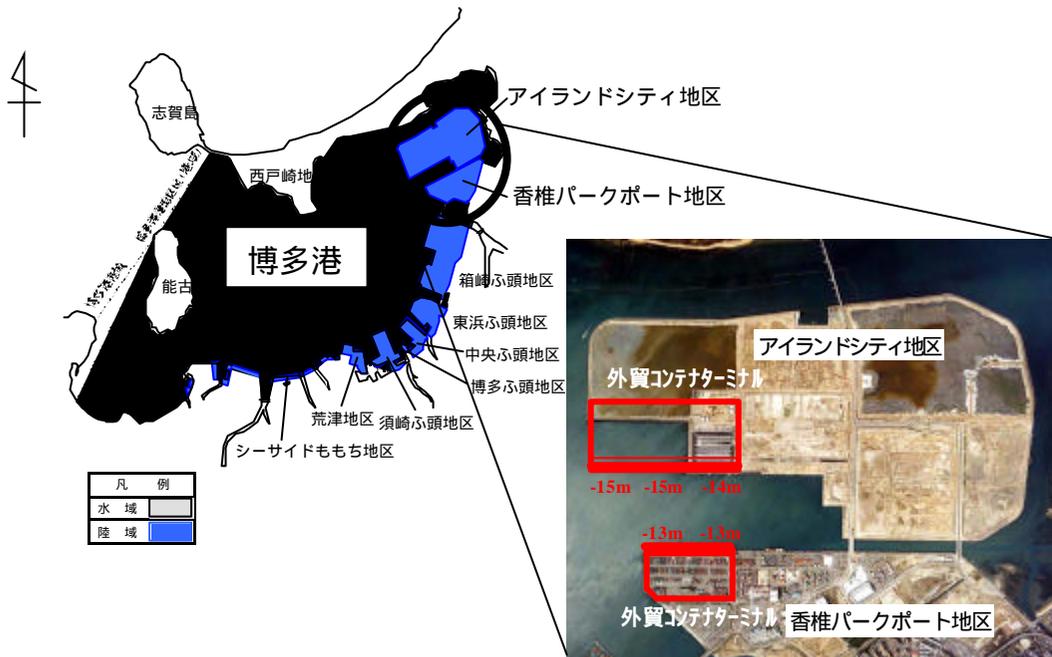


博多港港湾計画の一部変更

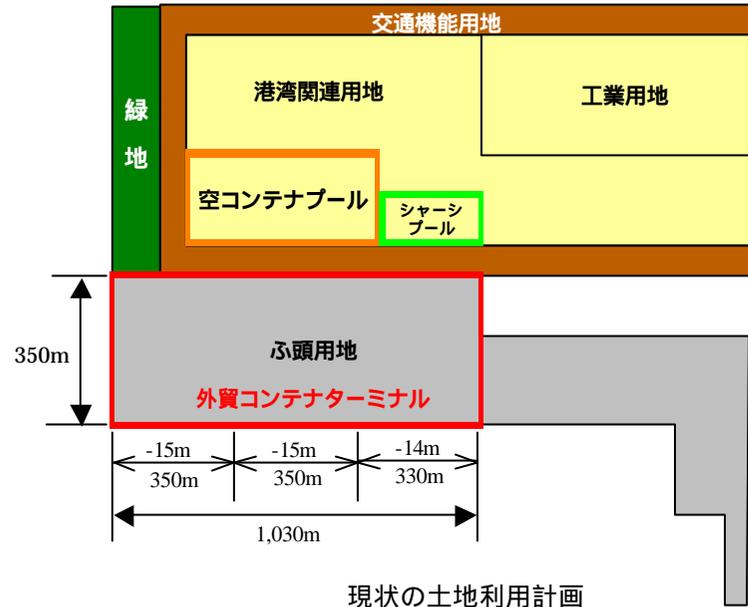
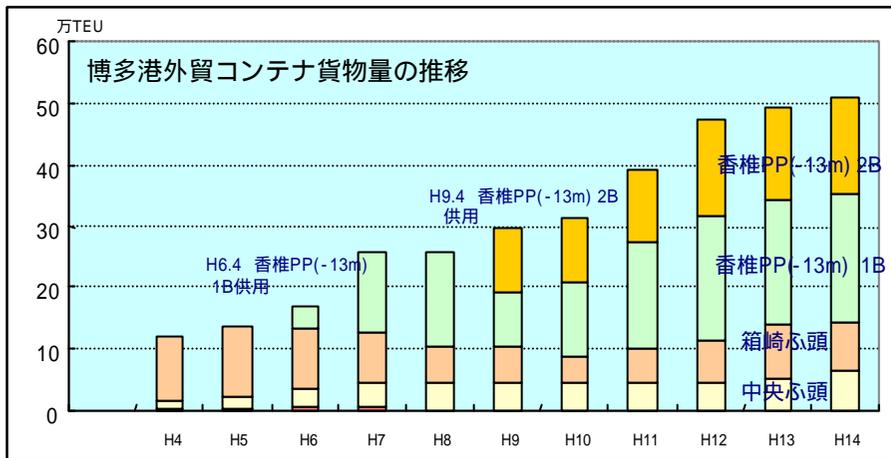


【背景】

- ・近年、釜山、高雄などの近隣アジア諸港の躍進により、博多港はこれらの港湾との競争に直面している。
- ・国際海上コンテナ輸送においては、船舶の大型化による寄港地の絞り込みが進んでいる。
- ・近隣アジア諸港と比較して、港湾コストが高い水準にあり、国際水準の港湾コスト・サービスの実現が急務である。

【背景】

- ・既定計画において、コンテナ輸送に伴い必要となるコンテナプール、シャーシプールを港湾関連用地に位置づけており、臨港道路を通過するコンテナ・シャーシの、ハンドリングやドレージが発生する。



今回計画変更の内容

【対応】

公共ふ頭計画の変更

アイランドシティ地区

ふ頭用地の面積 36ha 51ha

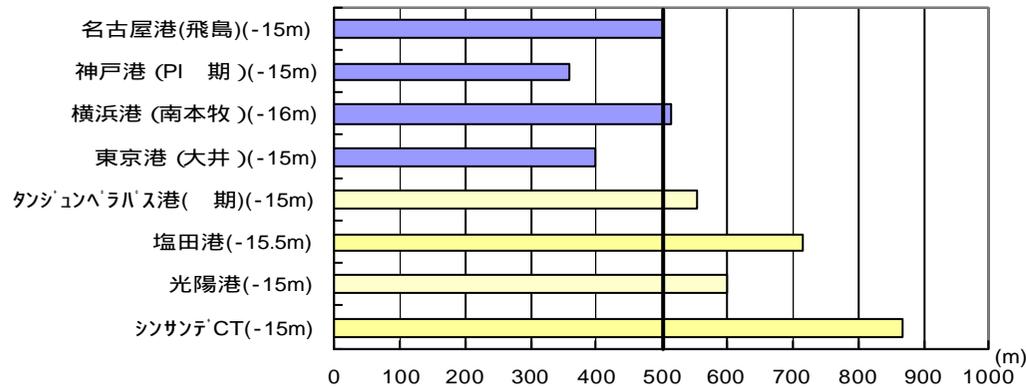
ふ頭用地の奥行き 350m 500m

【対応】

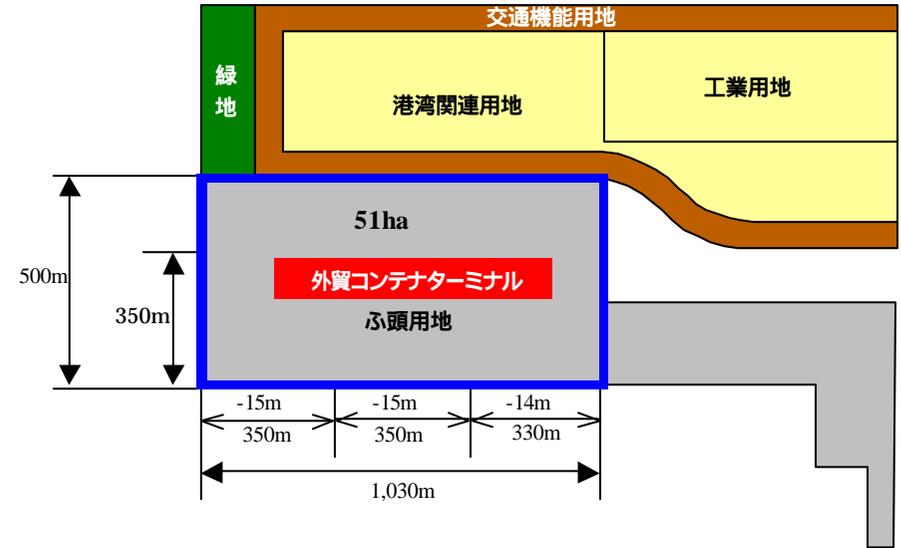
アイランドシティ地区および香椎パークポート地区に
効率的な運営を特に促進する区域を位置づける。



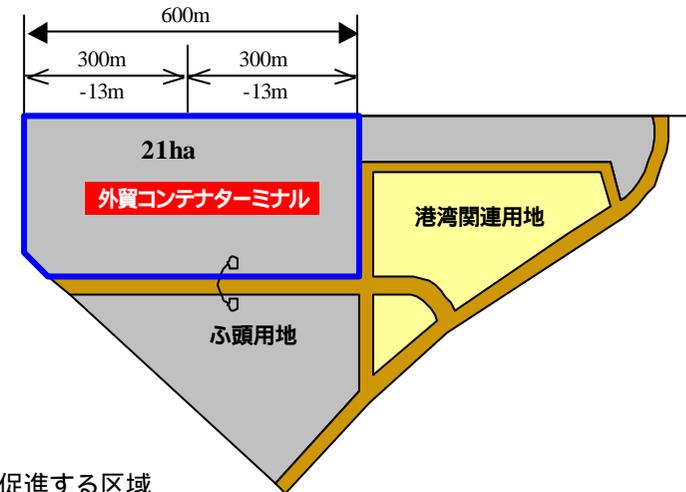
主要港のコンテナターミナルの平均奥行き



アイランドシティ地区



香椎パークポート地区



効率的な運営を特に促進する区域

今回計画変更の主な効果

【今回計画の具体的施策】

構造改革特別区域法の「特定埠頭運営効率化推進事業」の導入

	岸壁	国
整備	ふ頭用地	港湾管理者
	上物	港湾管理者
運営	管理	港湾管理者
	荷役・集荷	民間事業者
	岸壁等使用形態	使用許可

公設公営

民間事業者へ施設毎に一時使用許可
条例による画一料金

	岸壁	国
整備	ふ頭用地	港湾管理者
	上物	港湾管理者
	キャリアなど	民間事業者
運営	管理	民間事業者
	荷役・集荷	民間事業者
	岸壁等使用形態	長期貸付

公設民営

民間事業者への一体的長期貸付
柔軟な料金体系
具体的ニーズに応じた荷役施設の整備

港湾コストの縮減

国際競争力の強化

（参考）

【その他のコスト縮減策】
港湾諸料金の大幅引き下げの実施
(本年度7月1日より実施)

- ・入港料
50%減額
(外航定期船を対象)
- ・岸壁使用料
30%~50%減額
(外航定期船を対象)
- ・ガントリークレーン使用料
30分あたりの使用量 約20%~30%減額
トランシップ貨物の場合1TEUあたり70%減額
冷凍コンセント使用量 約33%減額

- ・民間企業の経営能力を活用し、運営の効率化を実現
- ・荷役効率の向上による港湾コストの縮減